

HANNAH EMDE

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Veterinarian and Bestselling Author
- Conservationist and Ambassador for Biodiversity



ハンナ・エムデは、種の保存に情熱を注ぐ野生動物の獣医師です。彼女は最も僻地で働いており、世界中のジャングルが彼女の家です。生物多様性の重要性を強調することは、ハンナ・エムデの心の問題です。

ハンナ・エムデ (*1992) はボンの高校を卒業した後、フィリピンのボランティア活動 [weltwärts mit der GIZ](#) で 12 か月間働きました。その後、彼女はハノーバー獣医大学で学び、2019年に獣医師の免許を取得しました。2011年以来、ボルネオ島、マダガスカル、フィリピン、グアテマラを含む世界中で、年間数か月を定期的に研究と保護プロジェクトの支援に費やしてきました。彼女の最も重要な仕事の 1 つは、発見や経験を共有することです。

Topics

- Environment
- ESG
- Women

2017 年、ハンナと専門家チームは、世界の自然と種の保護に取り組む非営利団体 [Nepada Wildlife eV](#) を設立しました。彼女は獣医師として、マダガスカルのキツネザルの研究プロジェクトや、ボルネオ/マレーシアの熱帯雨林でのさまざまな研究プロジェクトなどのプロジェクト分野で働いています。2021 年以来、ハンナ・エムデは、GIZ (Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit) の One Health プロジェクトのコンサルタントとしても働いています。彼女はドイツ政府を代表して、パンデミックに対する重要な予防策である「野生動物取引における健康リスクに対する国際同盟」の設立を支持しています。ハンナは、2022 年ドイツ自然映画賞の審査員でもあります。

ハンナ・エムデは、ベストセラ [Abenteuer Artenschutz](#) と、ナミビアにおける生物多様性、種の保護、人間の相互作用を探る 6 部構成の ARD ドキュメンタリ [Hannah Gos Wild](#) を通じて全国的に知られるようになりました。

ハンナ・エムデは、生物多様性と種の保存の重要性に関して人気の専門家です。彼女はテレビやラジオのゲストとして歓迎され、講演者としてジャングルの驚くべき美しさを熱心にレポートしています。彼女は世界で最も辺鄙な場所での自身の活動について説明し、ウンピョウ、クロサイ、マウンテンゴリラなどの外来種がなぜこれほど絶滅の危機に瀕しているのかを生き生きと説明しています。彼女は、なぜ私たちの幸福が手つかずの自然に依存しているのかという事実への意識を高め、動物と人間の生息地を守るために一人ひとりが何ができるかを示しています。